

平成26年度 広域農道整備事業 再評価調書

事業名	広域農道整備事業	地区名	よしのがわちゅうぶにき 吉野川中部2期 地区
事業主体	徳島県	関係市町村	美馬郡つるぎ町
事業概要	<p>(事業目的)</p> <p>本地区は吉野川中流域の南岸に位置し美馬市穴吹・つるぎ町境の県道端山調子野線を起点として、(旧貞光町)長木、柴内、宅熊、を通過し、(旧半田町)東久保の県道上蓮小野線を終点とする、9.4kmの農道整備事業である。</p> <p>地区内の道路は、中山間部の地形的要因から整備水準が低く地区内を東西方向に貫く幹線道路が無いことから、農産物輸送はもとより、日常の生活にも支障をきたしている。</p> <p>このため、本農道を整備することにより、農産物の輸送労力の節減を図るとともに、農村の生活環境の改善に資する。</p> <p>(事業内容)</p> <p>受益面積 825ha 受益戸数 2,221戸 主要工事 農道工9,400m 全幅員7.0m(車道幅員5.5m) 総事業費 7,410,050千円(国50%:県40%:町10%) 工期 平成7年度～平成36年度</p>		
	評価項目	<p>(事業の進捗状況)</p> <p>本地区は、地形が急峻な区間が多く、法面保護工(法枠工等)や地すべり 地での対策工(アンカー工等)が必要になることから工期の長期化を余儀なくされているが、土工量の低減等が可能な補強土壁工法の採用や1.5車線の整備など弾力的な規格値の採用等も含めコストの縮減に努めており、平成26年度末までの進捗率は事業費ベースで88%となっている。</p>	
<p>(関連事業の進捗状況)</p> <p>特になし</p>			
<p>(社会経済情勢の変化)</p> <p>本地域においても、農業従事者の高齢化や後継者不足等により、農業を取り巻く状況は厳しいものとなっている。</p> <p>このような、社会経済情勢の変化があるが、地元は早期完成を望んでいることから、工法や構造、線形などの見直しによるコスト縮減を図るとともに、早期の効果発現が見込まれる区間や、事前防災の観点から集落の孤立化防止に資する区間の整備を重点的に進めていきたい。</p>			
<p>(計画上重要な部分の変更の必要性の有無)</p> <p>特になし</p>			
<p>(事業効果の発現状況)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 供用区間においては、ほ場への通作時間や集出荷場への輸送時間が短縮されている。 2 緊急時には避難路として利用可能となっており、集落の孤立化防止に寄与している。 3 集落間の移動時間が短縮されており、地域のコミュニケーションにも貢献している。 4 農道を利用して、伐採・植林も行われており、林業面でも寄与している。 5 総費用総受益比=総受益/総費用=1.41 			
<p>(受益農家、関係機関の意向)</p> <p>つるぎ町、地元受益農家から、早期の完成が要望されている。</p>			
<p>(事業の実施方針)</p> <p>継続して事業を実施する。</p>			